

お江戸舟遊び瓦版 1086号



水彩都市江東 ころろ美しい日本の再生 安全・安心まちづくり
お江戸観光エコシティ・お江戸舟遊びの会 江東区千田 13-10

東京大空襲80年 東京大空襲を語り継ぐつどい

日時：2025年3月9日 所：森下文化センター

主催：東京大空襲を語り継ぐつどい実行委員会

1. 挨拶：加藤裕子（東京都教職員組合副委員長）
2. 紙芝居「三月十日のやくそく」

早乙女愛・昭和女子大学付属昭和中学校放送部

- ・ ガンちゃん、みて。またアメリカのひこうきだ。ああ、B29 だな。ぼくだんじゃなくて、くいものを おとしてくれれば いいのになあ。 B29 はアメリカの開発した爆撃機です……
- ・ 悲しくも素晴らしい早乙女勝元氏原作の紙芝居が中学校放送部5人の生徒さんで演じられた。



3. 東京大空襲を語り継ぐ 「戦災孤児として生きて」 体験者 元木キサ子

- ・ セツルメント経営のクリスチャンの父と菊川に住んでいた。私は大空襲時に猿江公園に向けて走り、菊川橋を渡れば助かると逃げたが、橋の上で弟が見えなくなった。夜明けに猿江公園に座っていた。父母は我々を探し回り、火の中で死亡した。弟は見つかり我々は戦災孤児になった。国がした戦争なのに、戦災孤児には何もしてくれなかった。祖母の家は農家だったので食べていけた。兄は働きながら大学を出た。私は一人で農家の子守りと食事作りで働いた。叔母は他人の前では優しくだったが、二人になると蔑んだ。
- ・ 60歳になり好きな音楽を学ぶ機会を得、父の教え「貧しい人には親切に」の言葉と歌で頑張ってきた。人は地球の恵みの中で生きている。戦争は人災です。誰も戦災孤児にしてはいけません。



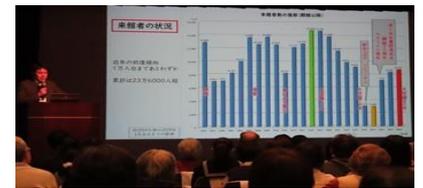
3. センターで学んだ生徒たち 江東区立扇橋小学校6年生

東京大空襲戦災資料センターで、体験者の方の話を聞いて凄まじい戦争の事を知りました。2度と戦争をしてはならないと心から思いましたと一人ひとりがその体験談の感想を話してくれました。素晴らしい心からの話で感動的でした。



4. 資料センターのこの一年 比江島大和（学芸員）

コロナ禍を越え、来館者が戻りつつある。新しい企画としてセンターの前に飲み物のベンダーを置き、大空襲センターのPRを語るシステムにして、一人でも多くの通りかけの人にも宣伝ができるように取り組んでみた。平和の時代を大いに広げたい。



5. 講演「へいわってどんなこと？～絵本で考える 戦争・平和・命～」 浜田桂子（絵本作家・画家）

- ・ 他国の人を傷つけない日中韓平和絵本プロジェクトを上げた。
- ・ 途中で韓国の人から批判を受けるまでに信頼関係が生まれた。
- ・ 子供の立ち位置で、戦争をしない意志、日韓の交流を大切に。
- ・ 戦争ではなく、話し合いで解決する。命の繋がりの素晴らしさ。
- ・ 自分が平和を作っていくという感覚を！！3月9日という今日。
- ・ 東京大空襲と繋がっている今日という日。他者と共感できることを大切に！！



挨拶：吉田裕館長：秋田魁新報によると秋田県出身兵士の76%が終戦一年前に亡くなったとのこと、また、各地の空襲で沢山の人が亡くなったことを省み、戦争は絶対にしてはならないと痛感する。

今後、今日のような新しい若い力を得て皆様とともに日本の平和のために、頑張っていきたい。

所感：中学生と小学生の強い平和への願いが皆に感動を与えた語り継ぐつどいになった。（文責 中瀬）

江東区政を考える会総会

日時：2025年2月22日 14時～16時

会場：江東区産業会館

主催：江東区政を考える会



第1部：学習会 「江東区版パートナーシップ制度を求めて：その経緯と意義」

講師：羽生 有希（東大・共立女子大講師、ICU 研究員、クロスオーバーこうとう他）

1. パートナーシップ制度とは

- ・ 婚姻できない（しない）カップルの生活上の困難の一部解消する独自の制度
主な困難：制度上の困難、生活上破りうる偏見など（保育園のお迎えも）
- ・ 国ではなく各自治体が定める ⇨ 自治体ごとの差（要項 or 条例、対象者等）



2. 区議会での議論……区議会の議論は異例づくめ！！

- ・ 2015年、渋谷区、世田谷区で制度導入後、1年経たずに江東区議会で取り上げられていた。
議論は、〈社会の混乱〉vs 〈差別禁止〉、現在も議論が続いている。
- ・ 2018年6月、制度導入を求める陳情が新規付託。10月には反対陳情が新規付託。
「社会の安定した発展と秩序を揺るがす」vs 「青少年の倫理低下や家庭崩壊に拍車をかける」
- ・ 2022年都で制度が始まる。 ※ 少子化を進める、保険金殺人などの犯罪を増やすとの意見も。
- ・ 2023年、木村弥生新区長が24年からの制度導入に向け男女共同参画審議会に諮問。6割が肯定。
区長戦後、区長交代を理由に制度導入を延期。
- ・ 再度諮問！！ 区議会初の参考人招致 2025年第1回定例会で「一部改正する条例」案提出。

3. 江東区版パートナーシップ制度

- ・ 男女共同参画条例の改正に伴い設けられた制度 ※ 要項よりも安定した制度化
- 改正予定の条例の中身：江東区男女共同参画及び多様性の尊重を推進する条例
- ・ パートナーシップ・ファミリーシップ宣誓制度を設ける。 ・ 差別的取り扱いの禁止条項に、性的思考や性自認についての公表の強要等及び他人の性表現の妨げについての規定を追加。
- ・ 条文中にある「男女」を「すべての人」に、「性別」を「性別等」に改める等、多様性尊重！！
※ 性的指向や性自認、性表現についての差別禁止が盛り込まれる！
- 制度の特長：対象者を性的マイノリティに限定しない。ファミリーシップも認める都内初！
- できること、すべきこと
- ・ 条例案提出とは言え議会内の賛否は拮抗している。⇨ 慎重派議員への働きかけが必要。
※ 凶らずも、パブコメや審議会答申の後も住民の声を反映させることができると明らかに！
※ 多くの区の課題についても、最後まで諦めない！

第2部：総会議事

① 来賓挨拶：酒井なつみ（メッセージ甚野秘書代読）、

大つきかおり、赤羽目たみお区議、高野隼人区議

② 活動経過報告と活動方針の提案：河島信子事務局長

24年度活動報告：人権・防災・介護・医療・公正な区政を求める陳情を行い、市民と野党の共闘で酒井なつみ国会議員の誕生等大きな成果を得た。

25年度活動方針：住民のいのちと生活、子育て・教育・福祉を大切にし、住民参加の防災対策など、安心安全なまちを目指す活動を目指し活動する。

③ 決算報告、監査報告。2025年予算案：松尾勉、④ 運営委員会・役員の提案：岡田光司

まとめ閉会挨拶：宇都宮健児共同代表：江東区は、貯金とも言える基金が2000億円を超えた。この基金を区民の生活、中学生の修学旅行無償化や福祉に活用させたい。パートナーシップ条例は内容を高めていきたい。区民の声を届ける役割を大切に活動しよう！市民側の議員を増やそう！

所感：江東区政を考える会も7年目を迎え、安定な活動を祝える状態になってきた。（文責 中瀬）

